

- | | | |
|-----|---|--|
| 問1 | 室町幕府が、中国の明と行っていた貿易のことを何という？ | |
| 問2 | 室町時代、農民たちが「寄合」を通じて村の運営を独自に行うようになった村の組織を何というか？ | |
| 問3 | 首里を都とする琉球王国が、東アジアと東南アジアの間に立って行った経済活動を何と
いいますか？ | |
| 問4 | 室町文化において、武士の精神に大きな影響を与え、水墨画や書院造の基礎となった教
えを何という？ | |
| 問5 | 鎌倉時代に浄土真宗を開き、後に室町時代に蓮如によって民衆へ広く広められた人物は
誰？ | |
| 問6 | 観阿弥とともに能を大成させ、能楽の基礎を築いた人物は誰？ | |
| 問7 | 15世紀に中継貿易で栄えた東アジアの王国を何という？ | |
| 問8 | 正長の土一揆において、農民たちが酒屋や土倉を襲い、借金の帳消しを求めた要求を何
といいますか？ | |
| 問9 | 堺などのような、海上輸送の拠点として栄え、商人が集まる町のことを一般的に何とい
う？ | |
| 問10 | 室町幕府の第3代将軍で、明との間で勘合貿易を始めた人物は誰？ | |
| 問11 | 15世紀に沖縄本島を統一し、琉球王国を建国した人物は誰ですか？ | |
| 問12 | 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？ | |
| 問13 | 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？ | |
| 問14 | 室町幕府の足利尊氏によって京都を追われ、吉野に南朝を開いた天皇は誰？ | |
| 問15 | 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？ | |
| 問16 | 応仁の乱以降、農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きの
一つを何という？ | |
| 問17 | 室町時代、大規模な内乱の最中に建立され、その後の日本文化の礎となった建物を何と
いう？ | |
| 問18 | 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形
環境が重要であった？ | |
| 問19 | 鎌倉府の長官として、足利氏の一族が世襲して関東地方の軍事や行政を司った役職を何
という？ | |
| 問20 | 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は
誰？ | |
| 問21 | 浄土真宗の強い信仰で結びついた門徒たちが、室町時代に起こした武装蜂起のことを何
という？ | |

答え合わせ・解説

問1	答え 勘合貿易	勘合貿易は、倭寇の取り締まりを条件に明との間で行われた公貿易です。幕府や一部の大名が主導し、銅銭や絹、美術品などを輸入しました。これにより莫大な富を得た幕府は、室町文化の発展を支えることになりました。
問2	答え 惣村	惣村は、村人が共同で地主や守護大名に対抗するための組織でした。村人たちは「寄合」を開いて村のルールを決めたり、用水路の管理を行ったりしました。また、守護大名が過度な年貢を取りに来たときには、団結して抵抗する権利も持っていました。これにより、中世の村は高い自主性を持つようになりました。
問3	答え 中継貿易	琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく中継貿易を行いました。これにより莫大な富を得て繁栄しました。
問4	答え 禅宗	禅宗は、単なる宗教だけでなく、茶の湯や華道、水墨画などの芸術にも強い影響を与えました。室町時代の文化の中心地となった京都の五山寺院を中心に、多くの僧侶が教えを広め、質素で引き締まった精神性を重視する独自の文化が形成されました。
問5	答え 親鸞	親鸞は、阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えるだけで救われるとする浄土真宗を説きました。また、僧侶の妻帯や肉食を認めるなど、当時の常識を打ち破る教えが特徴です。
問6	答え 世阿弥	世阿弥は、父である観阿弥の才能を受け継ぎ、室町幕府の将軍足利義満に認められました。彼は能の理論を記した『風姿花伝』を著すとともに、多くの優れた脚本を書き上げ、能を大衆的な芸能から芸術性の高い舞台芸能へと完成させました。
問7	答え 琉球王国	琉球王国は、中国（明）、日本、東南アジアの国々を繋ぐ「中継貿易」で莫大な利益を得ました。この貿易によって得た富により、独自の華やかな文化を築き上げました。万国津梁の鐘には、世界の架け橋となるという琉球の誇りが刻まれています。
問8	答え 徳政	土一揆において農民たちは「徳政」を要求しました。これは、債務者の借金を無効にする、あるいは利子を免除するといった救済措置のことです。彼らは酒屋や土倉を襲い、借金の証文を奪って破棄させるなどの実力行使を行いました。
問9	答え 港町	港町は、船による海上輸送の拠点として、国内外の物資が荷揚げされる場です。堺は大阪湾の港町として、国内外との交易を通じて発展しました。そこには商人たちが店を構え、倉庫を建て、金融業も発達しました。
問10	答え 足利義満	明との貿易を望んだ義満は、明側からの「倭寇の取り締まり」という条件を受け入れ、勘合貿易を開始しました。これにより日本は多大な経済的利益を得ただけでなく、中国の文化や技術を取り入れるきっかけとなりました。
問11	答え 尚巴志	中山の王であった尚巴志は、優れた軍勢力と外交手腕を駆使し、1429年に沖縄本島を統一して琉球王国を建国しました。首里を王都と定め、後の琉球王朝の基礎を築きました。
問12	答え 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。
問13	答え 実力	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「実力」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。
問14	答え 後醍醐天皇	武士の支持を失った後醍醐天皇は、足利尊氏と対立して京都を追われました。尊氏が京都に別の天皇を立てると、自らは奈良の吉野へ逃れ、そこで南朝を開きました。これ以降、京都の北朝と吉野の南朝が並立する動乱の時代が始まりました。
問15	答え 沖縄本島	沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。それぞれの国から仕入れた品物を他の国へ運ぶ「中継貿易」を行い、東アジアにおける物流のハブとして莫大な利益を上げました。この貿易を通じて、日本文化や中国文化も影響を受けました。
問16	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。彼らは守護大名を追放し、加賀国のように長期間にわたり自分たちの支配を確立する地域もありました。
問17	答え 応仁の乱	1467年に始まったこの戦いは、全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、日本全土に広がりました。これにより、室町幕府の権威は地に落ち、京都の街は焼け野原となりました。
問18	答え 峻険な山々	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。この地形は、大規模な軍勢による攻撃を困難にしました。そのため、南朝は少ない兵力でも長期的に拠点を維持することが可能となりました。
問19	答え 鎌倉公方	鎌倉公方は、室町幕府の将軍の親族が任命されることが多く、関東における事実上の将軍代理として君臨しました。関東管領という補佐役をつけ、独自の行政権や軍事動員権を行使することで、強力な地方政権のような形をとっていました。
問20	答え 足利尊氏	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。これは、京都の幕府とは別に、東国の軍事や行政をまとめる重要な組織として機能しました。
問21	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の門徒が団結して守護大名や他の宗派と戦った武装蜂起です。各地で発生し、時には地域全体の支配権を握るほどの強い勢力を誇りました。